

幼稚園・保育園の副食費の無料化を

民生福祉常任委員会が保育園長会と懇談

市議会民生福祉常任委員会と市内民間保育園園長会との懇談会が 10月 11 日に開催されました。この懇談会は、6 年前から年 1 回開催されており、市が委託している保育事業を担っている民間保育園の実情などを聞く貴重な懇談会となっています。

今回大きな話題となったのは、今年 10 月（沼田市は 4 月から先行実施）から実施された、国の幼児教育・保育の無償化に伴うもろもろの問題でした。

一つは、無償化に伴い園児の副食費（おかず代、沼田市は 5,000 円）が保育料から切り離され、直接保護者負担となり、保育園に直接支払うことになりました。保育園も徴収する事務が増えました。この問題は、昭和村のように副食費も含めて無償化すれば解決できます。

もう一つは、無償化により入園希望者が増えることが予想されていますが、恒常的な保育士不足に悩まされているということです。現在でも高い料金を支払って派遣会社から保育士の派遣に頼らざるを得ない状況もあるとのことでした。

そのほかにも、最初は市が配置してくれた「AED」が、現在は保育園の負担で修理や買い替えをしていることや国が推進している補助事業の「乳児安全管理システム」が、群馬県では扱っていないなどのことが指摘されました。また、市が 7 年後に民営化すると発表している市立南保育園をどのようにしていくかの具体的なことが、まだ全く知らされていないなどの疑問も出されました。

市は、行政改革の一環で、7 年後には東保育園を廃止し、南保育園を民営化することを決めています。まさに行政改革ありきで、市内の民間保育園の意見などの聴取もせず、実情の把握などもしていません。

常任委員会としては、問題点などを調査し、改善が必要なことは市当局へ要望する方向です。



泥んこ遊びに興じる園児たち

教え子を再び戦場に送らない！

全群馬退職教職員の会利根支部が宣伝

「教え子を再び戦場に送らない」という不滅のスローガンを掲げ、全群馬退職教職員の



裁判所前で宣伝するみなさん

会利根支部の人たちが、食品スーパーの買い物客でにぎわう材木町の地方裁判所前で、「戦争法の撤回・憲法 9 条を守れ！」と頑張っ

て訴えていました。買い物客では、手を振ってこたえる人、通行する車が停車して声をかけていく人、あいさつする人などがありました。

大空にひびけ！子どもたちの歌声！

20 日、恒例の「くらしと健康まつり」が十王公園で開催されました。



親子で一緒に！楽しい行事がいっぱい！

ぬまた子育てフェスタ11th

「実行委員会」による「ぬまた子育てフェスタ」が、27 日、保健福祉センターで開催され、多くの親子づれなどでにぎわいました。



1 階で行われた親子で一緒に楽しもう！楽しい音楽大集合

2019 年 11 月 3 日 No.946

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町 983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料